

2 教育目標及び子ども像、育成を目指す資質・能力、目指す学校像、目指す教職員像

学校教育目標	心身ともに健康で、知・徳・体の調和のとれた生徒の育成
目指す子ども像	「に」人間味にあふれた生徒 「し」辛抱強く取り組む生徒 「が」学習意欲の旺盛な生徒 「も」目標を追い続ける生徒
育成を目指す資質・能力	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら進んで課題を設定し、話し合い活動などの協働学習を通して課題解決する力の育成 ・情報社会において、正しい情報を選択できる活用能力の育成 ・人権を大切にしている意識を持つ、道徳的実践力の育成 ・自らの心と身体に健康に興味・関心を持ち、高い自己管理能力の育成
目指す学校像	<ul style="list-style-type: none"> ・明るく活気にあふれ、生徒にとって安心・安全な学校 ・学ぶ楽しさ・わかる喜びを実感させ、夢と希望が語れる学校 ・生徒・保護者・地域の願いを的確にとらえ信頼される学校
目指す教職員像	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな人権感覚をもち、生徒一人ひとりを徹底的に大切にしている教職員 ・自己の資質・指導力の向上に励み、確かな学びを保障する教職員 ・教育に携わる職責と使命を自覚し、自らの働き方を意識し改善できる教職員

3 教育課程の全体像（学校経営方針）

上記の目標を実現するための学校経営方針について、簡潔に説明してください。
※その際、次の視点を網羅して作成してください。

- ◇児童・保護者・地域・教職員の实態
- ◇カリキュラム・マネジメントの視点による学校経営
- ◇組織マネジメントの視点による学校経営
- ◇人材育成の視点による学校経営

【実態の把握】

- ・生徒は、適切な支援が必要である。また、得意を伸ばせば自信をもって取り組むことができる。
- ・保護者は、多くが子どもの状況を把握しつつ、教育活動に協力的である。一方で、多様な基準で物事を判断する傾向は年々強くなっている。
- ・地域は、大きく子どもを見守ってくれている。教育活動にも理解がある。
- ・教職員は、日々前向きに取り組んでいる。一方で、19クラス中14クラスが4年目までの教員で担任を担当することとなる。

【目標の設定】

小中一貫目標「自ら学び考え、自己を高めようとする子どもの育成」子ども教職員も「なりたい自分」になるために、さらには、自立した社会の形成者を育てるためのカリキュラムを構想・実践する。

【経営方針 一つながりそして助け合う】

- ・自分の学びが、自分に、そして社会に生きて働くものとなる「社会に開かれたカリキュラム」を構想し、実現する。
- ・子どもたちも教職員も「場と状況」の判断ができるよう、「自己指導能力」を育む。
- ・カリキュラムの実現のため、子ども教職員も見通しを具体的に共有し、取組への指導と評価の一体化を図る。なお、評価は、教員にとって指導の改善のための活動であり、その目的は、子どもたちに「もっと学びたい」「学ぶ意味・意義がある」と思わせて、自ら学べる力(=自学自習)を育むことである。
- ・教職員は、目標の実現のため、教職員それぞれの得意を生かし、お互いを支えあう。その際、担任・副担任は主任の立場で、主任は管理職・京都市の立場で、管理職はもっと広い立場で物事を考える。また、何事も自分ごとと考え、生徒・保護者に寄り添って物事を判断する。さらには、いざというときの命を守るすべを自分ごととして身に付ける。

教育の重点を丸ゴシックで、経営の重点をBIZゴシックで

<p>場と状況の判断</p> <p>↓</p> <p>「自己指導能力」とは、<u>その場で、どのような行動が適切か、自分で決めて正しく判断し行動できる力。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒に自己肯定（存在）感 ・自己有用感を育むこと ・共感的人間関係を育成すること ・自己決定の場を与え自己の可能性の開発を援助すること 	<p>社会に開かれたカリキュラム</p> <p>↓</p> <p>自分の学びが、自分に、そして社会に生きて働くものとなる。探究活動において、発達段階に応じた計画を通して、生徒個々が経験した、また疑問に感じたことを課題とし、課題解決に向けた探究的取り組みを実践する。</p>	<p>見通しを具体的に共有【指導と評価の一体化】</p> <p>↓</p> <p>生徒と学習の見通しとして、何をいつ取り組むのか、どのように頑張れば評価されるのか、を常に共有する。さらに、次に何を頑張ればさらに力がつくのかを具体的に示し、再び取り組んできたことの再評価に努める。</p>
<p>生徒が安心・安全に学べる学習環境と学習内容を提供する（学ぶ意味・意義がある）</p> <p>↓</p> <p>それぞれの状況にあった個別最適化の学びを提供する「自学自習」</p>	<p>「自ら学び考え、自己を高めようとする子どもの育成」</p> <p>↓</p> <p>子ども教職員も「なりたい自分」になるために</p> <p>そして</p> <p>自立した社会の形成者を育てる</p>	<p>評価（チェック）は指導の改善のために</p> <p>↓</p> <p>授業でワクワクさせて、もっと学びたい！と思わせて、自ら学べる力を育む「自学自習」</p>
<p>常識を疑う(この仕事必要か?)</p> <p>↓</p>	<p>教職員それぞれの得意を生かし、お互いを支えあう育てあう</p> <p>↓</p> <p>担任は主任の立場で、主任は管理職・京都市の立場で、管理職はもっと広い立場で考える</p>	<p>自分ごとで考える（生徒・保護者に寄り添って）</p> <p>↓</p> <p>いざという時の命を守るすべを自分ごととして身に付ける。起きる時間、寝る時間、家で学習を始める時間を固定する *道難訓練(全校)、HANAモデル訓練(教職員)</p>

今年度ここに入るアイデアをいくつか考え、実行しましたか？